



「地域とともにある学校づくり」 のススメ

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進させることで、学校は**化学**する」



I 学校・家庭・地域の協働の必要性

「学校マネジメント」推進指針より

- 学校の抱える課題が**複雑化・困難化**している現在、困難な課題を解決していくためには、学校はより一層地域に開かれ、地域と積極的に向き合う必要があります。
- 一方、地域には子どもたちの学びを豊かにしていく役割が期待されていますが、人と人との関わりや地域の**つながりが薄れ**、地域コミュニティの**希薄化**が懸念されています。

学校が抱える課題

複雑化・困難化

いじめ・暴力行為等
問題行動の発生

特別な配慮を必要とする
児童生徒数の増加

地域や家庭が抱える課題

地域の教育力低下

後継者不足による
地域産業・コミュニティの活性化

地域社会のつながりや
支え合いの希薄化

- このような状況の中、「**よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る**」という学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、新しい時代に求められている資質・能力を子どもたちに育む「**社会に開かれた教育課程**」の実現に向けて、学校・家庭・地域の連携・協働が重要になります。

II 「地域とともにある学校」づくりの推進

「学校マネジメント」推進指針より

- 学校は、どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという**目標やビジョン**を**地域住民等と共有**し、地域と一体となって子どもたちを育む「**地域とともにある学校**」づくりを推進する必要があります。

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)

- 学校と地域が目標や課題を共有し「地域とともにある学校」づくりを進めるための仕組み
- 学校と地域をとりまく課題解決のための仕組み（プラットフォーム）

大分県が目指す「地域とともにある学校」の姿

- 学校と地域がパートナーという関係の下、それぞれが**当事者として「参画」**しながら、共に子どもたちを育て、そのことを通じて共にこれからの**学校や地域を創る**という理念に立つ。
- 支援を超えて**目的を共有**し、長期的な**「双方向性」**のある展望を持った**「連携・協働」**を行うことができる関係を構築した学校。

「地域とともにある学校」の運営に備えるべき要素

■ 熟議

多くの当事者が「熟慮」と「議論」
によって問題の解決を目指す対話

当事者意識の向上

● 役割の明確化

■ 地域の参画を基盤とした連携・協働

教育の質の向上

● 教育資源の活用

■ 双方向性

地域課題の解決

● 学校のプラットフォーム化

● 「地域とともにある学校」に期待される役割

Ⅲ 地域全体で子どもたちの成長を支えていく環境の整備

「学校マネジメント」推進指針より

- 「地域とともにある学校」づくりを推進するためには、**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進**していくことが必要であり、それに向けての**体制の構築**が重要です。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による課題解決

■コミュニティ・スクール

■地域学校協働活動



地域学校協働活動推進員が**学校運営協議会の委員**として**参画**することにより、**学校と地域が目標を共有した活動**を目指します。

*「地域学校協働活動推進員等が学校運営協議会の委員である小中学校」の割合：56.6%（R5）

地域学校協働活動推進員

- 社会教育法に基づき、教育委員会が委嘱する地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーター。

- 地域学校協働活動推進員の主な役割は、
 - 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
 - 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整
 - 地域ボランティアの募集・確保
 などです。

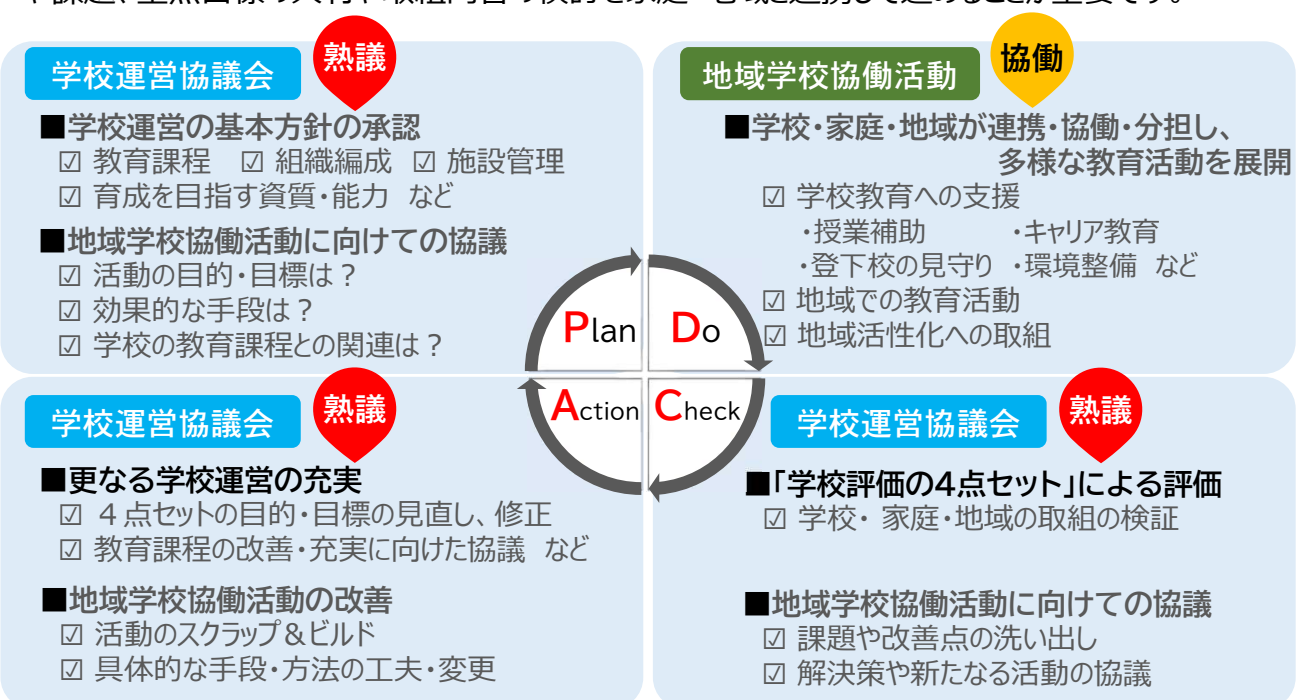
実現に向けて①
学校運営協議会

実現に向けて②
地域学校協働活動

Ⅳ 学校・家庭・地域による目標協働達成に向けた取組

「学校マネジメント」推進指針より

- 校内の検証・改善サイクル（「学校評価の4点セット」）と学校運営協議会を**連動**させ、学校の現状や課題、重点目標の共有や取組内容の検討を家庭・地域と連携して進めることが重要です。



取組事例

各立場がすべきこと
大切な視点

キーワード コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

大分県が目指す
地域とともにある学校

実現に向けて①
学校運営協議会

実現に向けて②
地域学校協働活動

取組事例

各立場がすべきこと
大切な視点

教育委員会

コミュニティ・スクール

学校運営協議会※1

熟議

■学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行う

- ・ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認
- ・ 学校運営について、教育委員会又は校長に意見
- ・ 教職員の任用に関して、教育委員会に意見

意見

説明

学校（校長等）
学校運営の基本方針

承認

任命

■委員（構成）

- ・ 地域住民
- ・ 保護者
- ・ 地域学校協働活動推進員 等

説明
相談

教育課程

生徒指導

学校運営や教育活動

意見

解決策の提示

学力向上

※1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5

CS委員として参画

学校担当者と連携

人材のコーディネート

委嘱

地域学校協働活動推進員※2

活動のコーディネート

※2 社会教育法 第9条の7
※3 社会教育法 第5条

地域学校協働活動

■地域と学校が連携・協働して行う学校内外における活動 ※3

- ・ 授業補助、校内清掃、登下校対応、部活動補助などの学校における活動
- ・ 放課後等における学習支援・体験活動（放課後子供教室など）
- ・ 地域の防災活動やお祭り等地域の伝統行事への参画など地域を活性化させる活動等

「協育」ネットワーク



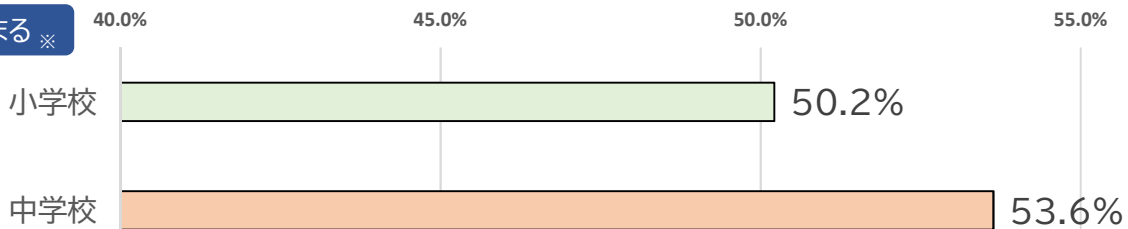
I 「主体的」な学校運営協議会にしよう

校長

- 本校では、学校運営協議会の開催に向けて、各委員との連絡・調整は教頭が行っています。
- 会議での議事進行は、会長にお願いをしていますが、協議内容の周知については、私が作成する学校便りで地域・家庭にお知らせしています。
- 正直、**教職員の負担**がないとは言えない状況です…（困）

□ 「会議の準備や当日の議事進行、協議内容の発信など運営業務を学校が担っており、一部の教職員の負担になっている」 - 令和5年度教育課程の編成・実施状況調査より -

当てはまる ※



※「当てはまる」・「やや当てはまる」の合計値

- 学校運営協議会の実施にあたっては、運営業務を全て学校が引き受けるのではなく、学校運営協議会が**主体的**に運営できる**仕掛け**が大切です。
- 例えば、協議内容の周知は学校運営協議会や地域学校協働活動推進員が担うなど、「**学校運営協議会が担うもの**」「**学校が担うもの**」といった**役割分担**を行う必要があります。
- また、**CS委員の人選**も重要です。役職指定の人選ではなく、学校の必要に応じた委員を人選することで、**当事者意識の向上**も期待できます。

CSコンサル

II 学校は、学校運営協議会を「頼ろう」

学校担当者

- 学校運営協議会の委員さんから、「委員になったけど、学校に**どう関わっていいの**か分からないんよ」という困りの声を耳にします。
- 我々学校側は、委員さんと**どのように関わって**いけばよいのでしょうか？

- 学校運営協議会の委員さんは、学校の御意見番ではなく**チーム学校の一員**です。
- 学校は、単に学校運営協議会で報告のみを行なうのではなく、学校運営上の悩み・困りをもっと学校運営協議会に**相談**してみましょう。
- そうすることで、CS委員さんの**学校への関わり方**が見えてくるとともに、新たな**地域学校協働活動**も生まれてきますよ。

CSコンサル

Ⅲ 教職員とCS委員との距離を縮めよう

CS委員 ● 先日、学校からの依頼があって河原で集めた丸石を学校へ持って行ったんですが、学校の先生から「どなたですか？御用件は何ですか？」と尋ねられ、**悲しい気持ち**になりました…（涙）

- 学校と地域が協働するためには、両者の双方向による理解が必要です。
- 学校は、自校の職員に対して**CSの意義・役割**を理解させるのはもちろんのこと、**CS委員の周知**を図ることも重要です。
- 例えば、年度初めの対面式で**CS委員の紹介**を児童生徒と共に行うことや、空き教室を活用して「**CSルーム**」を設置しCS委員が常に学校へ来ることができる環境の整備、またCS委員が地域学校協働活動に参加することも効果的です。

CSコンサル

■ 玖珠町立くす星翔中学校のCSルーム



Ⅳ 学校運営協議会の会議の持ち方を工夫しよう

校長 ● 本校は、市の規定で年間3回の学校運営協議会を開催していますが、学校からの報告が中心となってしまう、テーマに対してCS委員と深く協議を行うことができていません。

● 学力向上会議も含めて、**会議の持ち方**を上手く工夫できるとよいのですが…

熟議



- 学校運営協議会と学力向上会議を同日に行う学校も多いと思いますが、2つの会議を**別々に設定**してしまうと、多くの時間を要してしまい、深く協議することができなくなってしまいます。

CSコンサル

第2回(8月)学校運営協議会 テーマ「学力」※

- ①【説明】今年度の学力向上の取組
- ②【報告】学力調査の結果及び今後の取組
- ③【協議】学力向上に向けた学校の困りとその解決
 - ・ 学校が担うものを設定
 - ・ 地域が担うものを設定
 - ・ 家庭が担うものを設定

- 学校運営協議会は「**協議の場**」です！

CSコンサル

- 左記を参考に、**学校運営協議会の持ち方**を工夫してみてください。

CSコンサル

「学校運営協議会の活性化」も参考に (P. 8)

※学校運営協議会**の中で**学力向上会議を実施

I 学校と地域が「協働」しよう

地域住民

- ○○小学校では、我が家の田んぼを利用して田植えの授業を行っています。
- 学校から毎年「お願いします」と頼まれるけど…

● 私たちは、毎朝「あいさつ運動」と「交通指導」を行っています。



地域住民

地域住民

- この活動は何のためにやっているのかの～？
- どんなことに役立っているのかの～？

- 「学力向上」「安全・安心な学校づくり」など、学校運営協議会を導入することでの効果は多様ですが、大切なことは、学校運営協議会や作業部会に関わる人たちが「何のためにこの活動をしているのか」を理解し共有することです。
- 「何のために」を共有することで、「お願い」と「頼まれ事への支援」といった貸し借りの関係ではなく、学校・家庭・地域の「協働」につながり、互いに**有用感（成果）**を実感することができます。
- 「学校教育目標（育成を目指す子ども像）」の達成に向けて、単なる学校支援に留まらず、「**目標を共有した取組**」を目指していきましょう。

CSコンサル

II 地域学校協働活動を「教育課程」に反映しよう

- 本校の教育目標は「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」です。
- この目標の達成に向けて、本校では地域の方による職業講話などを教育課程に位置付け、「**社会に開かれた教育課程**」の実現を目指しています。



校長

教科	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校の教育目標	教育目標「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」 ドリームスクール 「地域の先生」による授業 地域とともに目標を共有し、生徒に夢を持たせる取組											
一年	5 課へ入道夢一年に学全単校移付教育目	テーマ こわいもの怪 会 SOCITV6.0社会 GT ハイパーネット ワーク研究発表	テーマ 夢を掴 み！ GT ●●●●●さん	(動物)ドリームマップ づくり GT ●●●●●さん		テーマ 職業 GT ●●●●●	夢の実現にまつための 学生生活の少人数 グループのドリームマ ップ (個人別数のGT発表) ～主体的学習の取組～	オアシススクールデー(英語)多 数校単位の少人数取組 GT 発表 はなまる				
教科	(国) 夢を掴める GT アナウンサー (国) 夢づくり GT 花組さん	(道徳)中学生にお家 の先生 GT 泉美士	(社) 関関と世界 GT 夢を掴める GT 夢を掴める	(国) 夢を掴む GT () 手紙について考えよう (道徳) 夢を掴 GT 人生について 考える				(国) 夢を掴む GT 夢を掴める				

● 3学期に学校と地域が**熟議**することが大事ですね。

CSコンサル

III 活動の成果を地域に「フィードバック」しよう

● 地域への情報提供は、私の役割です。

地域学校協働活動推進員

- 地域学校協働活動の終了後は、その成果（評価）を、地域に**フィードバック**することが重要です。
- そうすることで、地域の方は**有用感**を実感でき、CSコンサル新たな「協働」につながっていきます。
- 地域の方が「**やってよかった**」と思えることが大事ですね。

大分県が目指す
地域とともにある学校

実現に向けて①
学校運営協議会

実現に向けて②
地域学校協働活動

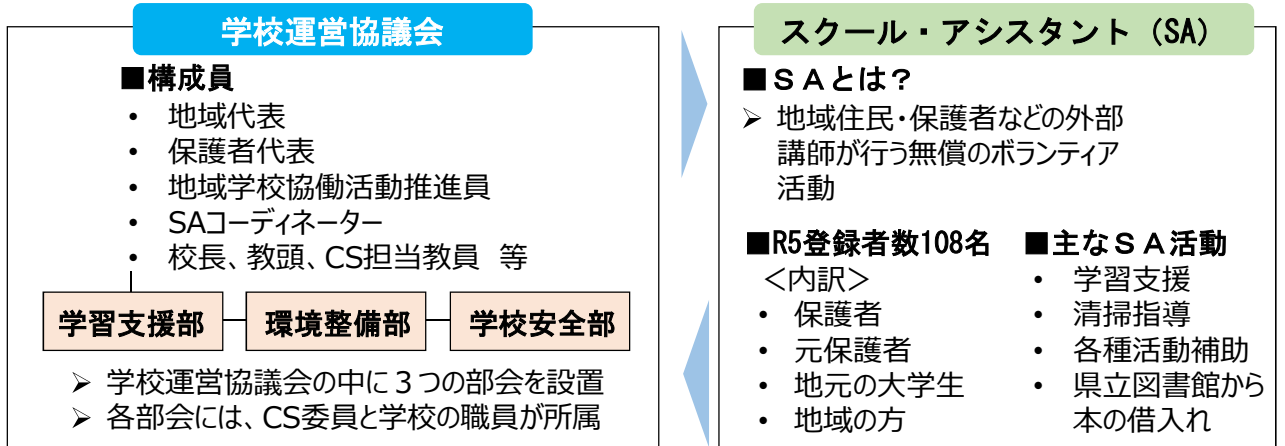
取組事例

各立場がすべきこと
大切な視点

取組概要

- 日出町立豊岡小学校では、地域・保護者の方による学習支援ボランティア活動「スクール・アシスタント(SA)」を通じて、学校と地域が協働した取組を実施している。
- 令和5年度は、延べ約630名の方がSAに参加、その仕組みとは？

I 学校運営協議会の組織



II 協働 (SA活動) の仕組み

■ 始めるにあたって

【4月上旬】地域住民、保護者への勧誘

- 案内文書
- 地区回覧板
- PTA総会
- 口コミ 等



【5月中旬】学校にSA登録を申込

- 申込みと同時に、ボランティア活動保険に加入

【6月上旬】「SA説明会」を開催

SAに係るお願い (連絡事項)

- 参加、不参加は自由 (できる時にできる人が)
- 秘密を守る
- 募集はメールで連絡
- SA活動は無償
- 退会はいつでもOK

■ 依頼の流れ

- 「SAさん依頼票」を作成し支援を要請
- 要望を受けてSAに活動を要請
- 活動後はアンケートを提出



SAさん依頼票

- ①期日○月○日
- ②活動内容・学年
- ③活動時間●時～●時
- ④希望SA人数

- 学校は、SAアンケートを学校便り・HPにてフィードバック

＜アンケートの声＞

- 初めて算数の丸付けに参加しました。私自身も子どもの勉強をもっとよく見て、一緒に勉強しようと思います。

I 学校がすべきこと

- ① 学校運営協議会を活用した学校教育の改善
- ② 全教職員による「地域とともにある学校」づくりの正しい理解
- ③ 学校運営協議会と連携し協議を主とした会議運営の実施
- ④ 学校運営の改善に資する学校運営協議会委員の人選（役職指定の見直し）
- ⑤ 学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の人材発掘

II 学校運営協議会がすべきこと

- ① 実施主体として学校運営協議会が会議を運営
- ② 学校や地域の課題解決に向けた議題の設定
- ③ 学校運営協議会が「協議の場」となる会議の持ち方の工夫（会議の活性化）
- ④ 学校の悩み・困りに対応できる組織体制の構築と行動
- ⑤ 学校の教育状況の把握（委員と子どもとの意見交換・授業参観等）

III 市町村教育委員会がすべきこと

- ① 市町村が目指す「地域とともにある学校」づくりの具体的なビジョンの提示
- ② 地域学校協働活動推進員の増員に向けた予算措置
- ③ 地域学校協働活動推進員の学校運営協議会委員への参画促進
- ④ 学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員の人材育成
- ⑤ 学校教育所管課と社会教育所管課の更なる連携の強化

IV 県教育委員会がすべきこと

- ① 県立学校における「地域とともにある学校」づくりの具体的なビジョンの策定
- ② 地域学校協働活動推進員の増員に向けた予算措置
- ③ 「地域とともにある学校」づくりの啓発（フォーラム・研修会の実施）
- ④ 県内外の好事例の発信
- ⑤ 教育庁と関係部局との連携

大切な視点

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて

大分県が目指す
地域とともにある学校

学校運営協議会の会議が、学校の課題解決に向けた協議の場になっていますか？

学校は、学校運営協議会を活用して学校教育の改善を図っていますか？

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

熟議

■学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行う

- ・ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認
- ・ 学校運営について、教育委員会又は校長に意見
- ・ 教職員の任用に関して、教育委員会に意見

■委員（構成）

- ・ 地域住民
- ・ 保護者
- ・ 地域学校協働活動推進員 等

学校（校長等）

学校運営の基本方針

説明

承認

説明
相談

意見

解決策の提示

教育課程

生徒指導

学校運営や教育活動

学力向上

実現に向けて①
学校運営協議会

地域学校協働活動推進員(コーディネーター)が、学校運営協議会の委員になっていますか？

学校運営協議会の委員は、学校運営に関わる一員として、当事者意識をもって会議に参加していますか？

CS委員として参画

学校担当者連携

地域学校協働活動推進員

人材のコーディネート

活動のコーディネート

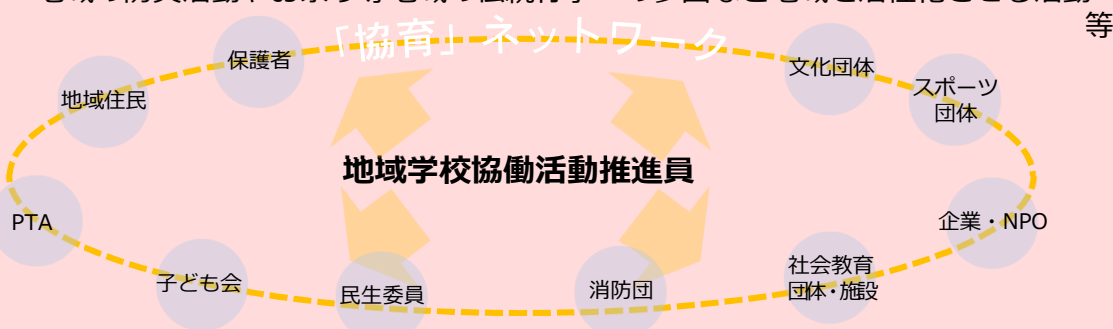
学校と地域学校協働活動推進員(コーディネーター)との連携は、十分に図られていますか？

学校と目標を共有した上で、活動を計画・実施していますか？

地域学校協働活動

■地域と学校が連携・協働して行う学校内外における活動

- ・ 授業補助、校内清掃、登下校対応、部活動補助などの学校における活動
- ・ 放課後等における学習支援・体験活動（放課後子供教室など）
- ・ 地域の防災活動やお祭り等地域の伝統行事への参画など地域を活性化させる活動等



実現に向けて②
地域学校協働活動

取組事例

各立場がすべきこと
大切な視点

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進させることで、学校は**化学**する」

「CS白書」について

- 「学校・教育委員会・学校運営協議会」が、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の趣旨を理解し、その実現に向けて、相互の活動の更なる充実を目指すための拠り所となるもの。

「CS白書 (ver.1)」について

- 県教育委員会では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図り、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し、子どもたちを社会全体で育む「地域とともにある学校」づくりを推進しています。
- この度、コミュニティ・スクールの成果・課題の検証を図るとともに、大分県版「地域とともにある学校」の実現に向けた具体的なビジョンの検討を行なうため、県内の学校教育関係者・社会教育関係者からなる令和5年度「地域とともにある学校」づくり推進タスクフォースを設置しました。
- 「CS白書 (ver.1)」は、本タスクフォースの委員の方々とともに作成しました。

令和5年度「地域とともにある学校」づくり推進タスクフォース委員

※五十音順

麻生 久	由布市教育委員会 学校教育課長	佐藤 裕一	別府市立中部中学校長
石井 睦基	佐伯市立渡町台小学校長	野 勝教	宇佐市教育委員会 社会教育課長
小川 匡	豊後高田市立高田中学校長	鈴木 耕平	大分県教育庁 教育改革・企画課長 (R5.10~)
重親 龍志	大分県教育庁 教育改革・企画課長 (~R5.9)	中城 美加	豊後大野市立千歳中学校長
梶原 敏明	玖珠町教育委員会教育長	新名 敦	臼杵市教育委員会 学校教育課長
萱島 かよ	国東市教育委員会 社会教育課「協育」コーディネーター	西村 陽子	日出町立豊岡小学校長
河津 勇成	日田市立大山小中学校 学校運営協議会委員	花崎 淳	中津市教育委員会 社会教育課生涯学習推進室長
黒田 美保	由布市教育委員会 社会教育課人材活用指導員	藤澤 裕治	大分市立植田西中学校長
権藤 和雄	別府市立中部中学校 学校運営協議会会長	森山 貴仁	大分県教育庁 社会教育課長
佐藤 智之	大分県立久住高原農業高等学校長	諸富 理	国東市立安岐小学校長